



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,355	1.7	843	△0.1	860	△0.2	578	△0.3
29年3月期第3四半期	7,234	2.2	844	0.2	862	0.6	580	9.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 645百万円(1.3%) 29年3月期第3四半期 637百万円(45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	175.17	—
29年3月期第3四半期	175.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,253	11,692	75.4
29年3月期	15,148	11,192	72.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,503百万円 29年3月期 11,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—		
30年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	3.6	1,310	7.4	1,330	4.7	900	12.8	272.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	3,601,681株	29年3月期	3,601,681株
30年3月期3Q	298,741株	29年3月期	298,616株
30年3月期3Q	3,302,965株	29年3月期3Q	3,303,192株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益の回復や雇用環境に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、米国政権の政策動向や東アジア地域の情勢不安などによる海外経済の不確実性の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護・福祉業界におきましては、高齢者人口の増加を背景として需要は堅調に推移しておりますが、医療費適正化と医療機関の機能分化の推進に向けて、引き続き厳しい対応が求められております。

このような環境のもと当社グループは、いち早く医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は7,355百万円（前年同四半期比1.7%増）、連結営業利益は843百万円（前年同四半期比0.1%減）、連結経常利益は860百万円（前年同四半期比0.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は578百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、医療用酸素ガスの消費量が減少傾向にあるなか、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,466百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は300百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、便利なりモコン機能と安心のモニタリング機能でHOT（在宅酸素療法）の患者様の療養生活をサポートする高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）-5T」の拡販に努めたほか、「人工呼吸器」、「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）のレンタル台数も好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,167百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益は381百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関の増築・移転新築工事の需要が一巡し物件数は減少傾向にあるなか、適正価格での受注並びに施工コストの低減に努めました。

これらの結果、売上高は624百万円（前年同四半期比20.5%減）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門におきましては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業強化が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。

また、訪問看護・居宅支援事業所におきましては、既存の2拠点に加え、平成29年4月に「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）を開設し、事業基盤の拡充を進めました。

これらの結果、売上高は421百万円（前年同四半期比10.5%増）、セグメント利益は69百万円（前年同四半期比65.5%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居者様の確保に努めました。

また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましては、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は204百万円（前年同四半期比7.9%減）、セグメント損失は52百万円（前年同四半期セグメント損失40百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は15,253百万円（前連結会計年度末比104百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が317百万円、投資有価証券が114百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が359百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,560百万円（前連結会計年度末比395百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が263百万円、未払法人税等が107百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は11,692百万円（前連結会計年度末比500百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が434百万円、その他有価証券評価差額金が65百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,379,146	7,697,089
受取手形及び売掛金	2,169,949	1,810,084
たな卸資産	168,073	186,895
繰延税金資産	57,215	57,093
その他	73,135	98,212
貸倒引当金	△3,174	△3,054
流動資産合計	9,844,344	9,846,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422,283	401,440
土地	2,115,749	2,115,749
その他(純額)	1,202,764	1,253,459
有形固定資産合計	3,740,797	3,770,649
無形固定資産		
	17,714	14,436
投資その他の資産		
投資有価証券	831,826	945,930
その他	716,027	677,994
貸倒引当金	△1,986	△2,039
投資その他の資産合計	1,545,867	1,621,884
固定資産合計	5,304,379	5,406,970
資産合計	15,148,723	15,253,292
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,942,062	1,678,550
未払法人税等	206,434	98,869
賞与引当金	122,900	57,300
その他	818,929	878,034
流動負債合計	3,090,325	2,712,754
固定負債		
役員退職慰労引当金	470,460	475,170
その他	395,363	372,700
固定負債合計	865,823	847,870
負債合計	3,956,149	3,560,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	10,382,609	10,816,645
自己株式	△511,990	△512,514
株主資本合計	10,820,507	11,254,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,417	238,844
退職給付に係る調整累計額	14,270	10,798
その他の包括利益累計額合計	187,687	249,642
非支配株主持分	184,379	189,006
純資産合計	11,192,574	11,692,668
負債純資産合計	15,148,723	15,253,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,234,933	7,355,928
売上原価	3,541,755	3,542,940
売上総利益	3,693,177	3,812,987
販売費及び一般管理費	2,848,864	2,969,819
営業利益	844,312	843,168
営業外収益		
受取利息	2,590	2,553
受取配当金	11,521	14,092
その他	9,002	6,750
営業外収益合計	23,114	23,395
営業外費用		
支払利息	5,220	5,695
営業外費用合計	5,220	5,695
経常利益	862,206	860,867
特別利益		
固定資産売却益	141	965
特別利益合計	141	965
特別損失		
固定資産売却損	17	—
固定資産除却損	246	126
特別損失合計	263	126
税金等調整前四半期純利益	862,084	861,706
法人税等	279,915	277,935
四半期純利益	582,169	583,771
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,627	5,203
親会社株主に帰属する四半期純利益	580,541	578,567

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	582,169	583,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,782	64,811
退職給付に係る調整額	△10,782	△3,434
その他の包括利益合計	54,999	61,377
四半期包括利益	637,169	645,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	634,461	640,522
非支配株主に係る四半期包括利益	2,707	4,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,389,994	3,012,145	784,882	381,199	221,835	6,790,057	444,875	7,234,933
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	78,261	—	—	78,261	—	78,261
計	2,389,994	3,012,145	863,143	381,199	221,835	6,868,318	444,875	7,313,194
セグメント利益 又は損失(△)	282,636	371,768	132,093	42,090	△40,996	787,592	56,737	844,330

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	787,592
「その他」の区分の利益	56,737
セグメント間取引の消去	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	844,312

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,466,535	3,167,236	624,316	421,355	204,253	6,883,697	472,230	7,355,928
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	76,559	—	—	76,559	—	76,559
計	2,466,535	3,167,236	700,875	421,355	204,253	6,960,256	472,230	7,432,487
セグメント利益 又は損失(△)	300,079	381,032	77,235	69,662	△52,495	775,513	67,654	843,168

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	775,513
「その他」の区分の利益	67,654
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	843,168

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。